# 管理職から始める重症化予防支援共同事業の概要

本事業の目的

健康経営等の観点から、健康的に業務に従事することが求められる管理職に焦点を当て、ICTを活用した重症化予防支援事業を通し、小規模健保 単独では難しい以下の内容の効果的・効率的保健事業を行う。

- ◆これ迄の分析項目に「職種」を加え、性差や年齢差だけでなく、管理職とその他の職種が生活習慣病関連疾患に与える影響を解析する。
- ◆これまで専用端末(インターネット非接続)を使用していたデータのやりとりをクラウド型に替え、共同設置保健師等専門職がいつでもどこでも 分析データにアクセス可能にすることによって、専門職が介入のタイミングを逃さないような体制を構築する。

代表組合:北陸銀行健康保険組合 参加組合:8組合

- ◆定期開催するワークショップ型研修会において、成功事例を共有すると共に、コラボヘルス推進に向けた事業主等へのプレゼン能力を高める。
- ◆介入後のレセプト・健診データから施策に対するアウトカム評価を行い、成功事例からモデル施策の共有化を図る。



共同設置保健師・産業医・産業看護職

# 期待される効果と今後の展開と応用性について

#### 期待される効果

- ①ハイリスク者の抽出→経年の健診データの可視化と資料の作成→資料の送付と受診勧奨/主治医面談依頼→報告書による健康行動の確認→未提出者に対する「クラウド版Wellくん」を用いての面談指導といった、一気通貫のハイリスク者の重症化予防支援が可能となる。
- ②「職種解析」を行い、責任を有すると共に、多くの被保険者に影響力のある管理職の健康度を把握・介入することで、その他の職種への波及効果が期待される。
- ③課題の可視化スキルを修得することにより、事業主をはじめとするステークホルダーへの説得力のある資料が作れるようになる。
- ④共同で行うこととハイリスク者リストを作成/成功事例の共有化により、限られた予算でも費用対効果比の高い保健事業が行える。
- ⑤課題発見→課題解決→評価までワークショップ型研修会にてフォローすることで、ハイレベルなアウトカム評価が行える。
- ⑥成功事例のモデル化により、未加入・未実施の健保に対して成功事例の共有化と効果的で効率的な保健事業の啓発が行える。

#### 今後の展開と応用性

- ①管理職に焦点を当てた分析・介入結果をその他の職種へのアプローチとして応用展開していく。
- ②健保連の他の連合会や保険者協議会へ成功事例を紹介することにより、「効果的・効率的保健事業」が展開できる。
- ③保健事業の成果をROI等の経済的価値に置き換えることにより、事業主への説得力が増し、「コラボヘルス」の普及が期待できる。
- ④発症・重症化予防支援の活動により、特定健診・保健指導の重要性や認知度が高まり、健診受診率や保健指導実施率の改善が期待できる。

## 重症化予防支援に対する基本的考え方

#### 予防可能な医療費を削減するためのPDCA (3年計画)

- 1.医療費解析から起こっている予防可能な疾病を明確にする(健保からの解析結果の情報提供)
- 2.上記疾病を次年度発症する可能性の高い人は誰かを3年分の健診データから予測する
- 3.高リスク者に対し、漏れなく<mark>最適行動</mark>(受診・受療・食行動・運動)が取れるように支援する
- │4.最適行動の結果、**健診データ**(と医療費データ)はどのように変わったかを評価する
- 5.評価結果から、予測システムの抽出条件や最適行動支援の方法を再検討する

## リスク分析システム



- オペレータの育成+ ●成功事例の共有化
  - ●アウトカム評価



持続可能な自立型 予防医療システム

